

平成28年度 学校経営計画書

学校番号	60	学校名	県立榛原高等学校（全日制）	校長名	佐伯 泰広
------	----	-----	---------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

歴史と伝統を継承する中で、校訓「至誠真剣」の下、本校が担い続けてきた人材育成に向け、次の3点に重点を置いた学校を目指す。

- ア 確かな学力とたくましい心身を鍛錬するとともに創造力、発信力、コミュニケーション能力を伸ばし、調和のとれた人間教育を推進する学校。
- イ 将来の地域のリーダーの育成を目指し、地域との連携の中で個に応じたキャリア教育を推進する学校。
- ウ 思いやりの心を育てるとともに、心身の健康管理に努め、情操教育、健康教育を推進する学校。

(2) 目標具現化の柱

- ア 「時を守り、礼を正し、場を浄める」の生活信条を実践し、自律心を身に付けた生徒を育成する。
- イ 豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒を育成する。
- ウ 高い志をもって、学習、部活動、学校行事に自主的、主体的に取り組む自立心を身に付けた生徒を育成する。
- エ 進路意識を高揚し、生徒の進路実現を図るため、きめ細かい進路指導を推進する。
- オ 積極的な授業改善を実践し、授業力向上に向けた教員研修を推進する。
- カ 校内組織の活性化及び学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める。
- キ 自他を大切にできる態度や行動力を育み、安心安全な学校づくりに努める。
- ク 生徒、保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりに努める。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	規律ある中での伸びやかな人間関係づくり	毎朝の登校時のあいさつ、声かけ、身だしなみ指導を継続し、落ち着いた雰囲気やあいさつの励行の伝統を継承する。 コミュニケーションツールの適切な利用により、生活のリズムを守り、家庭学習時間を確保する。	毎朝の昇降口での指導継続	生徒 学年
			基本的な生活習慣の確立	
イ	高い学力とコミュニケーション能力の育成	アクティブ・ラーニングを取り入れた学習や ICT の効果的な活用、大学や地域との連携を図ることにより、知的好奇心を喚起し、コミュニケーション能力や創造力を高める授業を行う。 医療系・科学技術系人材の育成を柱に理数教育の充実を図り、国公立大学及び医療系大学への進学者を増やす。	学習中は携帯・スマホの電源を切るというマナー指導の継続	教務 生徒 保健
			いじめの認知件数0件 非行等の問題行動0件	
			「授業の内容が分かる」と答える生徒 80%以上	
「自分の考えや成果を発表する機会が与えられている」と答える生徒 80%以上				
			医療系・科学技術系人材育成事業への満足度 90%以上	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	「自立した榛高生」の育成	主体的な学習態度を育成し、家庭学習時間を確保する。	家庭学習時間 前年度比 20%アップ	生徒 教務 保健 図書・広報 学年
将来の自立に向けた教育活動を保護者と連携し、推進する。		「弁当の日」の取組を推進		
朝読書等を通して読書を推奨する。		生徒の学校満足度 90%以上		
		1人の読書量年間 10冊以上		
エ	進路希望の実現	総合的な学習と連携したキャリア教育と計画的な進路指導を行い、第一志望を実現する。	センター試験偏差値 全教科 50以上 国公立大学合格者 55人以上 医療系大学合格者 30人以上	進路
進路シラバスに基づき進路指導関係の各種取組を計画的に行う。		初期指導、面接指導などの進路指導関係の取組の充実		
オ	授業力向上に向けた教員研修の推進	公開授業や教員・生徒による授業評価、相互授業見学等を行い、授業改善を推進する。	教職員の自発的な研修への参加 年1回以上	研修
カ	教職員の協働体制の確立	合言葉「チーム榛原」を意識して業務に取り組む。	分掌を超えたプロジェクト チーム「榛原サイコウ委員会」による将来構想の策定	全分掌 学年 事務
学校経営目標について全職員の共通理解と分掌・学年・事務部等、組織間の連携を行う。		教職員のやりがい満足度 90%以上		
キ	安心安全な学校づくり	相談室を充実させ、悩みを抱えた生徒への個別対応を推進する。	学校支援アドバイザー、心の相談室などの積極的活用	保健 総務 生徒 事務
月初めの安全点検を通して修繕箇所・危険箇所を早期に発見し、迅速に対応をする。		安全点検 月1回		
ク	開かれた学校づくりと広報活動の充実	地域貢献活動に参加し、「地域とともにある学校」を積極的にアピールする。	地域貢献活動参加者 延べ参加人数 300人以上	総務 生徒 進路 図書・広報 保健 学年
地域と連携した活動を通して、将来、地域のリーダーとして貢献できる生徒を育成する。		牧之原市、静岡県立大学、自治会、近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校と連携した「榛高生地域リーダープロジェクト」の推進		
中学校訪問大使（生徒による中学校訪問）を活用して本校の情報や本校生の良さを積極的に発信する。		中学校訪問大使 年4回		
保護者や中学生へ進路情報を提供する。		保護者や中学生のための進路勉強会 年6回以上		
	榛高だより、学年通信、保健だより、図書館報、ホームページ、メール配信等の充実を図る。	保護者の学校満足度 90%以上		